

**「札幌市内・ニセコ圏スキー場 属性・周遊意識調査等事業」運営業務
公募型企画競争 提案説明書**

「札幌市内・ニセコ圏スキー場 属性・周遊意識調査等事業」運営業務の受託者選定に係る公募型プロポーザルを次のとおり実施します。

1 業務名称

「札幌市内・ニセコ圏スキー場 属性・周遊意識調査等事業」運営業務

2 実施主体

一般財団法人札幌市スポーツ協会（さっぽろグローバルスポーツコミッション）（以下、「委託者」とする。）

3 背景及び業務目的

委託者は、北海道・札幌市におけるスポーツツーリズムの促進を行い、道内あらゆる地域の活性化、交流人口拡大への貢献を活動の柱に掲げ活動している。

(1) 国内需要喚起を図るための来場スキーヤーの属性調査・分析

札幌市及び、委託者は近年、訪日外国人向けの来札促進の取組を実施していた。しかし、札幌市内スキー場来場者の多くは市民及び道民であること、そして新型コロナウイルス感染症の影響による訪日外国人の回復には時間が掛かることが予測されるため、国内スキーヤーも当面のターゲットのひとつとして設定し、国内需要喚起を図る必要があると考えている。そこで、国内スキーヤーの属性調査・分析の情報を把握することは重要であると捉え、当事業を通して何をきっかけにスキー場に来場しているのか、どういった人が来場しているのか等の情報を整理し、今後の取組の方向性を明らかにすることを目的とする。

(2) 札幌市とニセコ圏の相互の周遊促進に向けた周遊意識・往来現状調査・分析

委託者は、来年度、札幌市とニセコ圏における都市間連携を図り、相互の周遊促進につながる取組を予定している。当該業務は、次年度以降、札幌市とニセコ圏が共同で事業を推進するに当たり、札幌市とニセコ圏間の周遊における基礎情報・ニーズ・阻害要因等を把握することは重要であると考え、今後の札幌市・ニセコ圏の周遊促進の在り方や今後の取組の方向性を明らかにすることを目的とする。

4 委託期間

契約締結日より、2021 年（令和 3 年）3 月 31 日まで

ただし、新型コロナウイルス感染症に係る状況により、本事業を中止とする場合があるので留意すること。

- (1) 本事業の実施に当たっては、契約締結後速やかに実施準備を行いつつ、開始時期については委託者の指示によること。また、準備段階における物品、役務等の発注については、事前に委託者の許可を得たうえで実施すること。
- (2) 本事業の実施時期に、新型コロナウイルス感染症に係る国の緊急事態宣言が北海道に発令された場合等、契約締結後であっても委託者の判断により、当事業の中止することがある。
- (3) 前項による本事業の中止の際には、受託者と協議による合意解除とし、別途合意解除契約書を取り交わす。
- (4) 準備の段階で発生した費用については、当該支払に係る挙証書類の提出があり、委託者が認めた費用については、委託者が当該費用を受託者に支払う。ただし、当該事業実施に係る労務費相当額については、委託費総額（税抜）の 15%と定め、契約期間における契約締結から解除までの日数を按分して、委託者が受託者に支払う。
※労務費相当額（企画費・管理費等）15%の中止時の労務費算出規定は、提出する見積もりの労務費項目を 15%に定めるものではない。

5 業務内容

(1) 札幌市内スキー場・ニセコ圏スキー場に訪れたスキーヤーへのインタビュー定性調査

下記スキー場を訪れたスキーヤーに対して、インタビューによる調査を行い、各スキー場の来場者属性情報及び、札幌市・ニセコ圏周遊意識・往来現状に係る情報を調査すること。設問事項については、委託者と協議の上、決定し調査すること。サンプル数は市内 6 スキー場各 50 件以上、ニセコ圏スキー場 100 件以上、計 400 件以上とし、属性の件数が偏らないように配慮することとする。

調査先スキー場（計 10 スキー場想定）

【札幌市内】札幌国際スキー場、サッポロテイネ、札幌藻岩山スキー場

さっぽろばんけいスキー場、フッズスノーエリア、滝野スノーワールド

【ニセコ圏】ニセコビレッジスキーリゾート、ニセコアンヌプリ国際スキー場

ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフ、ニセコ HANAZONO スキーリゾート

(2) 定性調査を踏まえた情報整理・分析

(1)の調査内容を基に、それぞれのスキー場・属性ごとに整理を行い、札幌市とニセコ圏の周遊意欲、将来的・潜在的な需要や阻害要因等を属性ごとに分析すること。

(3) 分析内容を踏まえた、具体的な取組の提案

(2)の分析内容を基に、スキー場来場促進に結びつくための効果的な手法や、札幌市とニセコ圏の周遊促進に寄与する具体的な取組について提案すること。

6 企画提案を求める内容

(1) 札幌市並びに、ニセコ圏のスキーリゾートについての基本的な認識

札幌市並びに、ニセコ圏、それぞれのスキーリゾートを取り巻く状況、両都市間における周遊状況・実態等、基本的な認識を示すこと。

(2) 来場者の属性並びに、周遊の実態を想定した課題の洗い出し

(1)の認識を踏まえ、現時点で提案者が考える来場者の属性の実態及び、両都市間における周遊促進が阻害されている要因や課題の洗い出しを行い、阻害要因、課題の仮説を示すこと。

(3) 調査業務の手法

スキー場での現地聞き取り調査における手法の詳細内容を具体的に示すこと。また、調査手法において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策も併せて示すこと。

(4) 設問事項の設定とそのねらい

国内スキーヤーの需要喚起及び、札幌市・ニセコ圏における相互の周遊促進を達成できるような設問事項の具体例を挙げる。また、その設問事項を挙げたねらいを具体的に示すこと。

(5) 分析業務の手法

調査で得た情報をどのような手法で分析を行っていくか具体的に示すこと。

(6)業務のロードマップ

業務のプロセス及びスケジュールについて、打合せの回数や内容等も含めて具体的に示すこと。

(7) 過去の業務実績・適正な実施体制

類似業務の実績及び業務の執行体制を示すこと。

(8) 独自提案事項

本業務を実施するにあたり、提案者が上記以外の事柄で、必要、効果的と考える事柄があれば提案すること。

7 提案限度額

3,500 千円（消費税及び地方消費税を含む）

※本業務について上記金額内での提案を募集するものであり、契約予定価格ではない。

8 スケジュール

日程	内容
2021 年 1 月 19 日(火)	本公募の公告
2021 年 1 月 26 日(火)	事前質問の受付期間終了
2021 年 2 月 1 日(月)	プロポーザル参加申込書・誓約書の提出期限
2021 年 2 月 2 日(火)	企画書等の提出期限
2021 年 2 月 3 日(水)	選定委員会（ヒアリング）
2021 年 2 月 4 日(木)	結果通知（予定）
2021 年 2 月 5 日(金)	契約交渉優先順位に基づき最終交渉（予定）
受託者決定以降、速やかに行います。	契約締結（予定）

9 事前質問の受付

(1) 質問範囲

提案説明書に関する質問の受付を行う。

(2) 質問方法

様式 1 【事前質問用紙】に必要事項を記載し、電子メールにて提出すること。

(3) 回答方法

いただいた質問事項に関する回答については、電子メールにて随時お知らせし、企画提案を募集する上で広く周知すべきと判断されるものについては、質問の内容をさっぽろグローバルスポーツコミッションのホームページで公表します。来訪・電話等による対応は行いませんので予めご了承ください。

(4) 提出期限

2021 年 1 月 26 日(火) 14 時まで（必着）

10 プロポーザル参加申込書・誓約書の提出

(1) 提出方法

様式 2 【プロポーザル参加申込書】、様式 3 【誓約書】に必要事項を記載し、押印のうえ持参または郵送で提出すること。参加資格要件を満たさない参加事業者については、不合格とする場合があるため注意すること。

(2) 提出期限

2021 年 2 月 1 日(月) 14 時まで（必着）

11 企画書等の提出

(1) 企画書（様式は自由、A4、両面使用）

事業概要を踏まえ、「6 企画提案を求める内容」(1)～(8)について提案すること。

(2) 提出方法

上記企画書を以下の形で「18 連絡先及び提出先」へ持参または郵送（書留郵便等配達状況を確認できるものに限る）並びに、メールアドレス宛にデータの提出を行うこと。

と。

- ア 表紙に提案書の団体名称を記載したもの (紙媒体 5 部)
- イ 提案者の団体名称が記載されていないもの (紙媒体 10 部)
- ウ 上記ア、イの P D F データ (C D 又は D V D) 1 部

(3) 提出期限

2021 年 2 月 2 日(火) 14 時まで (必着)

(4) その他の留意事項

- ア 申込書類の作成・提出に係る費用は申込者の負担とする。
- イ 申込書類に虚偽があった場合は失格とする。
- ウ 提出のあった申込書類は返却しない。
- エ 同一の申込者からの複数の企画提案書の提出は認めない。
- オ 審査の公正を期するため、企画提案書には、会社名、住所、ロゴマークなど、企画競争参加者を特定できる表示を付さないこと。

12 選定方法

「札幌市内・ニセコ圏スキー場 属性・周遊意識調査等事業」運營業務企画提案審査委員会 (以下「委員会」とする。) が、別添「評価項目及び評価基準表」に基づき総合的に審査し、最も優れた企画提案者を優先交渉者として選定する。

(1) 日時

2021 年 2 月 3 日(水) 13:30 以降

※開催日時の詳細及び、開催手法 (直接ヒアリングや、オンライン上でのヒアリング等) については別途連絡を行う。

(2) 委員会によるヒアリングの実施

企画提案者に対してヒアリングを行い、契約候補者を選定する。ヒアリングの実施にあたっては、次のとおり行うものとする。

- ア 提案者側の出席者は最大 2 名までとする。
- イ ヒアリングは、1 企画提案あたり、30 分 (企画提案書に基づくプレゼンテーション 15 分、質疑応答 15 分) を想定し、順次個別に行うものとする。

(3) その他

- ア 提案者の数によっては、一次審査 (書類選考) を行う場合がある。
- イ 評価の結果は、提案者全員に文書により通知する。

13 参加資格要件

参加者は、次の要件を全て満たすこと。ただし、下記(5)の要件を満たしていない場合であっても、その他の要件を満たしている場合は、下表に定める必要書面を参加申込書と同時に提出を行うことで、参加の申し込みを行うことができる。

- (1) 地方自治法施行令 (昭和 22 年政令第 16 号) 第 167 条の 4 の規定に該当しない者であり、かつその者を代理人、支配人、その他の使用人として使用する者でないこと。

- (2) 会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者（手続開始の決定後の者は除く）等経営状態が著しく不健全な者でないこと。
- (3) 札幌市競争入札参加停止等措置要領に基づく参加停止措置を受けている期間中でないこと。
- (4) 事業協同組合等の組合がこの入札に参加する場合は、当該組合等の構成員が、構成員単独での入札参加を希望していないこと。
- (5) 令和元年・2年度札幌市競争入札参加資格者名簿（物品・役務）に登録されていること。
- (6) 市区町村税、消費税・地方消費税を滞納している者でないこと。
- (7) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団その他の反社会的団体である者又はそれらの構成員が行う活動への関与が認められる者でないこと。

※複数者が協力して参加する場合、構成員すべてが(1)～(7)を満たす必要がある。また、契約の相手方は代表者とし、他の構成員は協力者となる。

<札幌市の競争入札資格者名簿に登録されていないものが提出する書面>

提出書面	備考
ア 申出書	(様式4)
イ 登記事項証明書	※登記は現在事項証明または全部事項証明（写し可） ※参加申込書の提出日から3か月前の日以降に発行されたもの
ウ 財務諸表（直前2期分）	貸借対照表、損益計算書
エ 納税証明書 （市区町村税）	※本店（契約権限を委任する場合は受任先）の所在地の市区町村が発行するもの（写し可） ※参加申込書の提出日から3か月前の日以降に発行されたもの
オ 納税証明書 （消費税・地方消費税）	※未納がない旨の証明書（その3の3）（写し可） ※参加申込書の提出日から3か月前の日以降に発行されたもの

14 参加資格の喪失

企画提案者が参加資格を有することを確認したときから審査が確定するまで（契約候補者にあつては契約を締結するまで）の間に、次のいずれかに該当したときは、提出された企画提案に関する評価は行わず、又は、契約候補者としての選定を取り消すこととなる

- (1) 参加資格を満たしていないことが判明し、又は満たさないこととなったとき
- (2) 提案書類に重大な不備や虚偽の記載をしたことが判明したとき
- (3) 不正な利益を図る目的で委員会の会員等と接触し、又は、利害関係を有することとな

ったとき

15 失格事項

以下のいずれかに該当したものは失格とする。

- (1) 提出書類の提出期間、提出場所、提出方法、記載方法等が、本提案説明書及び各様式にて定めた内容に適合しなかった者
- (2) 審査の公平性を害する行為をおこなった者
- (3) その他、本提案説明書等に定める手続き、方法等を順守しない者

16 企画提案の著作権等に関する事項

- (1) 企画提案の著作権は各提案者に帰属する。
- (2) 委員会が本企画競争の実施に必要と認めるときは、企画案を委員会が利用（必要な改変を含む）することを許諾するものとする。この場合は、あらかじめ提案者に通知するものとする。
- (3) 企画提案者は、委員会に対し、提案者が企画提案を創作したこと及び第三者の著作権、著作人格及びその他特許権、商標権を含むいかなる知的財産権を侵害するものではないことを保証するものとする。
- (4) 企画提案の利用について、第三者から権利侵害の訴えその他の紛争が生じた時は、企画提案者は、自己の費用及び責任においてこれを解決するものとし、かつ、委託者に何らかの損害を与えたときは、その損害を賠償するものとする。

17 その他

- (1) 本プロポーザル参加に係る費用及び契約締結までに要する一切の費用は、全て参加事業者の負担とする。
- (2) 原則として有効に提出された書類の差し替え、追加及び削除は一切認めないものとする。
- (3) 本プロポーザルで提案いただく内容は、「札幌市内・ニセコ圏スキー場 属性・周遊意識調査等事業」のプロモーション等業務委託者を選考するための審査材料であり、選考結果の通知後に事業者との事業実施条件等の詳細を最終協議し、双方合意のうえ契約を締結する。

18 連絡先及び提出先

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 1 丁目 1 番地 7 ORE 札幌ビル 9 階

さっぽろグローバルスポーツコミッション 担当：橋本、向原

（一般財団法人 札幌市スポーツ協会）

TEL：011 - 200 - 0905 / FAX：011-200-0314

E-mail：sports@sgsc.jp

以上

「評価項目及び評価基準表」

評価基準点は「5点：非常に優秀 4点：優秀 3点：普通 2点：やや劣る 1点：劣る」とし、「評価基準点×係数」により評価点を求めるものとする。

同点を得た提案者が2者以上あった場合は、①「設問事項例の具体性・的確性」の評価点が高いもの、①も同点の場合は、②「実態・課題、仮説の的確性」の評価点が高いものの、①及び②ともに同点の場合は委員全員の協議により、契約候補者を選定する。提案者が1者となった場合は、委員会が定める最低基準点（総合得点の6割）を超えた場合に限り優先交渉団体とする。

評価項目	評価内容	係数	評価点
事業理解・ 分析の的確性	提案内容は、札幌市・ニセコ圏におけるスキーリゾートの基本的な考え方や取り巻く状況等を踏まえた適切なものであるか。	3	15
実態・課題、 仮説の的確性	属性の実態、両都市間における周遊促進が阻害されている要因・課題は事業内容に沿った妥当なものとなっているか。	3	15
調査の手法 及び詳細	調査手法において、調査目的に沿った妥当なものとなっているか。	2	10
設問事項例の 具体性・ ねらいの的確性	提案内容は、本業務の目的、方向性を理解し、調査目的に沿った効果的な設問事項となっているか。	6	30
分析の手法 及び詳細	分析手法において、目的に沿った妥当なものとなっているか。	2	10
業務のロードマ ップ	・業務のプロセスが合理的なものとなっているか。 ・スケジュールが履行期間内に十分執行可能なものとなっているか。	1	5
過去の業務 実績・適正な実 施体制	・過去に同様の業務・事業に取り組んだ経験があり、十分な業務実績があるか ・実績等の妥当性、有効性の観点から、業務全体を円滑に進められる執行体制となっており、委託者の求めに応じて、迅速に対応できる体制の提案となっているか	1	5
独自提案	業務目的を達成するにあたり、独自性のある、有効な提案となっているか	2	10
		合計	100